

【 I. 神 】

これからお話しすることは、全て「」に基づいています。聖書は奇跡の書物で毎年世界のベストセラーとなるほど、多くの人に読まれている書物です。

聖書は旧約が「」巻、新約が「」巻、合わせて「」巻あり、「」年頃から「」年頃に亘って書かれました。著者は「」人位。時代も環境も職業も違う人々が書いているのにテーマは一貫しています。それは奇跡ではないでしょうか。→著者が「」だからです。

1) はじめに神が天地を創造しました。

神は天地の全てを造られた方です。太陽や月、星、地球の自然や生き物を神とすることはできません。

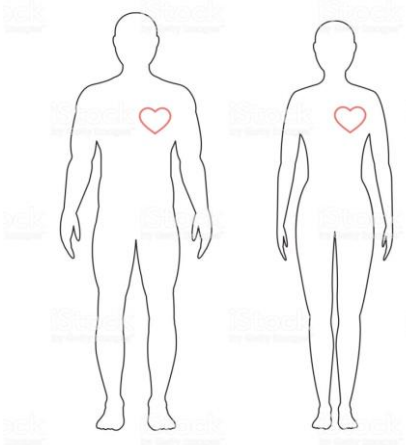
神は「人間()造られた神」ではなく、
「人間()造られた神」なのです。



2) 人間は神に造られました。

神は人間に命の息()を吹き込まれて、本当の意味で生きるものにされました。

神は霊です。神の「」として人間が創造されたというのは、人間にも霊を与えられたからです。だから神と人間は心を「」ことができるのです。



3) 神に愛されていた人間

神は、病気になったり、歳を取ったり、最後に死んでしまうように人間を造ったのではありません。そうではなく、人間は神に「」され、親しく語らい、共に生きて、永遠に喜びをもって存在するはずだったのです。

創世記 1:31.神はご自分の作った全てのものを見られた。見よ、それは「」に良かった。神は悪いものを造っていないのに、なぜ私たちの住んでいる今の世の中には不幸が沢山あるのでしょうか？ → 次回に。

【 II 世に入ってきた罪 】

P24 よく日本人は「 」の文化、欧米はキリスト教が土台にあるので、「 」の文化と言われます。日本人に分かりにくい「罪」について考えてみましょう。

1) 罪とは P25,26.

「CRIME」... 「 」もありますが聖書では、
「SIN」...行為ではなく状態=神から離れている状態「 」
「ハマルティア」... 「 」の状態
=神から離れている状態を言います。



P26,27. 創世記 3:1-7. この聖書箇所が世界に罪が入った出来事を記しています。

P28,29. 「 」が人間を誘惑し、神に従わないように仕向けました。
神は「実を取って食べたら必ず『 』』という、これ以上ない警告をしていました。でも人間は神の言葉ではなく、悪魔の言葉に従い実を取って食べたのです
= 「 」

神よりも悪魔の言葉を信じて従ってしまった時、人間は、命の源である神との永遠の絆が断ち切られてしまい、肉体が死んでしまう者、神との信頼関係、愛の関係、親しい交流の関係が壊れてしまった者になりました。



P29,30 アダム(とエバ)によって世界に入った罪は全人類に広がっていったのです。



P30-32 原罪が与えた致命的な打撃…

それは心の「 」でした。

だから人間は何をやっても満たされず、
自分を受け入れられなかったり、自分の欲求を第一にする者になってしまったのです。それによって妬みや蔑み、怒り、殺人、不安、憎しみに振り回される者となってしまっています。

あなたは、上記のようなことを感じたことがありますか？ 自分の心を変えられることができると思いますか？ **解決はあります！** → 次回もぜひ学んでください。

【 Ⅲ 罪② 】

1) 原罪(SIN)=神から離れている状態

・ P32,33 心…「すべての人間の心には『神』が空いている」それは神でなければ埋めることのできないものだとパスカルは言いました。社会的成功、財産、恋愛、哲学などによっても心の欠乏感は無くなりません。

・ P33-35 身体…どんな人にも「神」、「神」、「神」がやがて訪れます。どんなに難行、苦行、修行、あるいは慈善や施しをしても、断ち切られている神との「神」が回復しなければ、この空しさや恐れは解決しないのです。

2) 心と言葉の罪(sins) P35,36

原罪によって神から離れた人間は、自己中心(自分勝手)になり、その欲求が満たされないと、心の中に悪い思い(憎しみや妬み、情欲、怒り、虚栄心など)を持って生きるようになりました。

また心の中の思いが「神」から悪い言葉となって出ていきました。この心の中の悪い思いも口から出る悪い言葉も罪なのです。

3) 行いの罪(crime) P36,37.

心の中の悪い思いはやがて「神」(盗み、暴力、殺人など)となって現れます。

神は人間の行いを見、それだけでなく心の中の全てをご覧になり、口に出す言葉一つ一つを聞いておられ、言われるのです。「『神』はいない。一人もいない」(ローマ 3:10)

4) 罪の結果 P37,38

神から離れたままの状態、心や言葉の罪を犯しながら死を迎えるとどうなるでしょう。

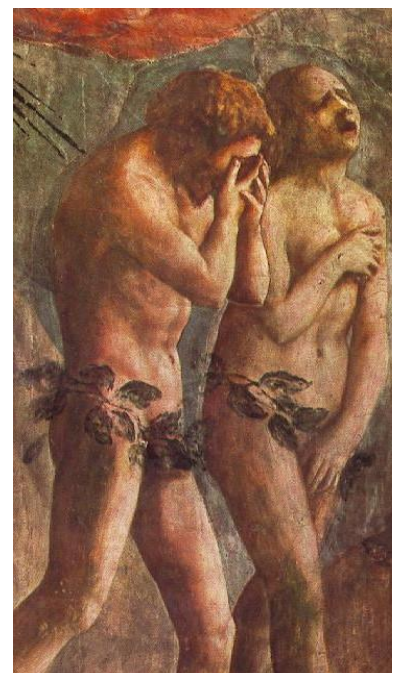
聖書は人間は死んだ後、人生を清算し、「神」を受けると教えています。

(神は正義であられるので、罪をそのままには出来ないのです)

神は、生きている内に、神との関係を回復して、この地上でも罪に支配されず、死んだ後もさばきを受けないで、初めの愛の関係に戻って欲しいと願っています。

あなたは神のこの思いをどう思われますか？

→ 神が行ってくださったこと…、次回もぜひ学んでください。



【 IV 救い 】

神は「 」にして「 」なるお方なので、「 」と共存できません。罪の状態にあるままの人間と繋がる事が出来ず、神の御住まいである天に罪人を迎えることが出来ないのです。でも人間を愛する神は、何としてもご自分から離れて「 」の道を進んでいる人間を救いたいと思われました。

そして行ってくださったのが、イエス・キリストの十字架による救いです。

神の大切な「 」イエスが、私達人間の代わりに一切の罰を負ってくださったのです。P40,41

またキリストは十字架で死んだだけでなく、三日目に「 」しました。

これは信じる全ての人が罪に勝利し、キリストと同じように「 」を持つためです。P42



イエス・キリストを信じる時…

- ・「 」が私達の内に住んでくださり、神との絆が回復され、罪人ではなくなります。P 42,43
- ・神から与えられた私達の霊が生き返ります。P45
- ・死んだ後、やがて私達もキリストと同じように新しい身体によみがえります。P46
- ・神の「 」として新しく生まれ変わります。

P46,47

イエス・キリストを心に信じ、口で告白するなら… P48,49

- ・神との関係は「 」にして回復されます。
- ・心の「 」が無くなり満たされます。
- ・神に備えられていた祝福を受け継ぐ者とされます。
- ・「 」の自分を取り戻し、最高の「 」を生きるようになります。



あなたも信じて、新しい本来の命に生き、最高の人生を歩みたいと願いませんか？

どうぞ、聖書の神をさらに知ってください。礼拝にも(続けて)行ってみてください。主イエスの名によってお祈りをしてみてください。新しい人生が必ず始まります！

